

令和6年度 授業改善推進プラン1年（課題分析と授業改善策）

	課題分析	授業改善策	評価
国語	①最後まで集中して話を聞くのが難しい児童への支援が必要である。 ②拗音、促音、長音や「はをへ」といった助詞を正しく使用し、自分の考えを1文以上の文に具体的に書くのが難しく、支援が必要である。	①注意深く聞く必要のある場面を意識して作り、確認をしながら根気強く指導する。 ②プリントによる復習や確認テストを繰り返し行い、自分の思いを書く場面や説明文の書き抜き等を単元の学習計画の中に取り入れて指導を続けていく。	
算数	①問題文から状況を想像することが苦手な児童に対して支援が必要である。 ②基礎的な加減法の習熟が不十分である児童に対して支援が必要である。	①適宜、場面絵を用意したり、動作化させたりすることで、場面の状況を想像しやすくさせる。また、文章題たくさん触れて、立式に慣れさせる。 ②プリントによる復習や確認テストを繰り返し行い全ての児童の正答率を8割以上にする。	
生活	①自らの知識と、活動経験を結びつけ、新たな学びを形成させていく必要がある。 ②気付きや思いを他者と伝え合ったり、振り返ったりして考えを深めるための支援が必要である。	①体験活動（観察、探検など）の設定、資料（学校図書、ICT端末など）の活用を並行して行い、多様な角度からの学びをすすめる。 ②活動を振り返る際には、自身の気付きや思いについて問い、ワークシートや発表などを通して確実に表現させる時間を設定する。	
音楽	①姿勢を保持して歌うことが難しい児童への支援が必要である。 ②音楽を聴き、感じたことを伝える意識を高める必要がある。	①音楽を楽しみ、歌う姿勢の指導を根気強く行う。 ②自分の感じたことを言葉や動きで他者に伝える表現の方法を指導する。	
図画工作	①全体的にアイデアが良いが、巧緻性が充分でないので、表現を活かす技能を身に付ける必要がある。 ②さらに豊かな発想力・表現力を付けさせたい。	①折り紙、切り絵、塗り絵、工作など様々な素材に触れて経験を積み、道具の使い方の基礎・基本の指導を繰り返していく。 ②物をよく見て感じながら制作する課題を取り入れ、楽しく制作に取り組ませる。	
体育	①運動遊びの際、自分の都合によって順番やきまりを守ることが難しい児童への対応が必要である。 ②技能ばかりを意識してしまう児童に対して支援が必要である。	①誰でも分かりやすい「はじめのきまり」を設定する。また、全員が楽しむためにはどのように遊びに取り組めば良いか児童に考えさせるようにする。 ②単元ごとに重点的に育む資質・能力を決め、3つの資質・能力がバランス良く育成できるようにする。	
道徳	①道徳的価値に気付いているものの、自己をみつめることが難しい児童への対応が必要である。	①授業の内容と日常生活とを結び付けながら継続して指導し、具体的な場面を思い浮かべながら考えられるようにする。	
ICT端末の活用		①自分でパスワードを入力して、ログインすることができるようにする。 ②タイピングができない低学年でも主体的に学習することができるように、手書き入力を使用していく。（生活） ③児童が用具を正しく使用できるように、実物投影機や動画をを用いてお手本を示す。（国語・図工・音楽） ④カメラ機能を使って友達に伝えたい物を撮影して見せられるようにする。（国語・生活・図工・体育）	